



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

1984. 5. 15

12

To Club Presidents and Secretaries of DISTRICT 260

**Share Rotary—
Serve People**

みんなにロータリーを—
みんなに奉仕を



第7回ローターアクト地区大会は、去る4月29日(日)、30日(月)の2日間、例年より10日ほど遅れた満開の桜に囲まれた松本市あがたの森文化会館において、松本市長、奥澤地区ガバナー、地区青少年奉仕委員長川瀬パスト・ガバナーほか、多数のご来賓をむかえ、ロータリアン、ローターアクト併せて339名の出席を得て開催されました。

来賓の方々より、心のこもった激励のお言葉を頂いた後、この3月に新たに仲間入りした名古屋熱田R.A.C.の紹介があって午前前の部を終了。午後の記念講演は、「頭の体操」など多くの著書で有名な千葉大学教

授、多湖 輝先生による「企業とアイデア」と題した面白くもまた為になるお話。その後、「友愛の場」と称する7グループにわかれてのフリートーキング形式の懇談会。夜に入っては、懇親会が美ヶ原観光ホテルで行われ、奥澤ガバナーを交えてのロータリアン、松本ローターアクト有志で編成された楽団「ア、シマッターズ」の演奏。各クラブによる工夫あふれた創作ダンス等、親睦交流を深めるプログラムがもたれました。翌日は、日頃の運動不足を解消するため半日リクリエーションを行ない、滞りなく大会を終了することができました。

事務所 〒390 松本市中央1-9-18(松本商工会館内) TEL (0263) 36-6588

ガバナー 奥澤俊一

南信第一分区 I. G. F. 開催報告

南信第一分区代理
有 賀 安 一



日 時 4月8日(日)
会 場 茅野市蓼科 ホテル・ピラ蓼科
出席者 229名
ホスト 茅野R.C.

今年度のI.G.F.は、「今後の社会奉仕活動はいかにあるべきか」をテーマに、フォーラム・リーダー有賀分区代理のリードにより開催されました。事前にこのテーマについて分区内の11クラブよりの意見を論文として提出して貰い、それをパンフレットにまとめて各クラブに配布し、白馬、松本、塩尻、諏訪の4クラブにより当日意見発表を行ない、それを基にして種々意見交換、討議がなされました。



特別出席者	ガバナー	奥澤俊一
	分区代理	有賀安一
	バスト・ガバナー	藤原正男
	ガバナーノミニー	奥谷博俊
	次期分区代理	江上真通

第二分区代理
北原克己

以上の各氏をお迎えして定刻開会しました。小池 武会員の司会のもとに、まずホストの茅野R.C.有賀重登会長の歓迎の挨拶に始まり、有賀分区代理、奥澤ガバナーの挨拶の後、プログラムにそって午前中は曹洞宗特派布教師、川窪純光師（三光寺住職、富士見R.C.会員）の「親子関係をみつめなおす」と題する講演会が行なわれ、出席会員に多大の感銘を与えました。

午後は、前記の「今後の社会奉仕活動はいかにあるべきか」のテーマによる4クラブの意見発表が行なわれ、有賀フォーラム・リーダーの提言等を交えながら活発な意見発表がなされました。

終りに、特別出席者より講評、総評があり、滞りなくI.G.F.の目的を達して15時に終了しました。

この間、昼食休みには「友愛の広場」で各会員が懇談し、クラブ間の友情を深めました。又当日は好天气に恵まれ、春の遅い信州も久し振りに温かくなり、温暖な日ざしのもとで各会員とも気持ち良く一日を過しました。

最後に、来年度のI.G.F.のホストである松本R.C.の清水会長より挨拶があり、今年のホスト茅野R.C.桑沢和夫I.G.F.実行委員長の閉会のことば、「手に手つないで」の大会唱、点鐘で閉会となり、陽光に映える蓼科高原をあとにしました。

南信第二分区 I. G. F. 開催報告

南信第二分区代理
北 原 克 己



と き 4月15日(日)
ところ 辰野町下辰野公民館
出席者 8 R.C. 254名
ホスト 辰野R.C.
フォーラム役員 奥澤俊一ガバナー
川瀬 保バスト・ガバナー
原 享二バスト・ガバナー

特別出席者 奥谷博俊ガバナーノミニー
有賀安一南信第一分区代理
加藤徳夫次期南信第二分区代理

本年のI.G.F.は、青少年奉仕一本にしぼって計画立案し、テーマを「ロータリーが、今、青少年に何ができるか、何をしてやれるか」に決

定。これは、ロータリアンは青少年の模範であれ、という強い意味を含んでいると考えています。従って、終始全体会議で、午前中は各クラブより1名づつ意見事例の発表を行ない、ボーイスカウト、ローターアクト・クラブの設立とその現況、その後の育成指導や奉仕活動、問題点等について、又は、青少年交換の成果や問題点、或いは青少年問題に取り組む諸団体の状況や問題点、それら諸団体とR.C.とのかかわり方、今後のリーダーの育成等について、各クラブの体験に基づく数多くの貴重な意見の発表がありました。このような意見発表の後、パネル・ディスカッションの中で、質問や意見の交換がやりとりされる間に、ガバナーやアドバイザーから適確なご助言をいただき、熱心で本音による討論が行なわれました。

午後は、「子供の将来を左右するもの」という演題で、前松本少年刑務所長倉科 茂先生による1時間30分余にわたる特別講演があり、その中で先生は、青少年の健全育成に関して、子供達の人生には生涯を貫く大黒柱が必要であり、その大黒柱を与えてくれるような感動の体験、機会、場というようなものをこの地域社会の各家庭に沢山つくり出していくような雰囲気や、家庭、学校、社会が一体となって動くような地域ぐるみの協力体制づくりというようなことに、国際ロータリーの力をより一層主導していただき、青少年のためのよりよい環境づくりに協力をお願いしたいというお話があり、数多くの体験からくる非行防止、青少年健全育成に関する講演は強い説得力をもって会場の人々に深い感銘を与え、本日のフォーラムを一段と実り多いものといえました。

尚、ガバナー講評の中で、非行防止も大切だが、健全育成にも力を入れていただきたい。そ

の手段として、I.A.C., R.A.C., B.S., G.S.への育成援助も大きな実績であるが、現在日本は世界第二の経済大国になって、その甘えの構造の中につかって育っている青少年を、単なる健全育成以上の、もっと力強い、粘りのある若い世代に育てていく必要があるのではないかと、そしてこのようなことに、ロータリーがどのように取り組むことができるかということを検討願いたい。それには我々の持っている英智を集め、



創造力を活かして新しい方法を発見していく以外に道はないような気がする。このような点について尽力するよう尚一層の努力と活動をお願いしたい、というご意見をいただき、本日のテーマをより一層深く掘り下げた問題を提起された形となり、今後の研究課題となりました。

最後に、次期I.G.F.ホストを飯島R.C.に決定し、15時に盛会裡に閉会となりましたが、本日はテーマを一本にしぼり、十分な時間をかけて体験をふまえた深みのある事例発表をもとに、ガバナー、アドバイザーのご指導を得て、実に有意義な実りの多いI.G.F.ができましたことを、特別出席者をはじめ、多数参加して下さった方々に厚く御礼申し上げる次第であります。



三河第一分区 I. G. F 開催報告

三河第一分区代理
伊 藤 務

三河第一分区の本年度のI. G. F.は、去る4月22日、奥三河R.C.をホストとし、県立奥三河総合センターにおいて、伊藤 務三河第一分区代理の主催のもとに奥澤俊一ガバナー、森 泰樹パスト・ガバナーをお迎えして、参加9クラブ、出席会員253名を得て開催されました。

フォーラム・リーダー

三河第一分区代理	伊藤 務
アドバイザー	地区ガバナー 奥澤俊一
	パスト・ガバナー 森 泰樹
パネリスト	職業奉仕部門 伊藤松太郎
	社会奉仕部門 丸山 茂
	国際奉仕部門 松野六郎
	青少年奉仕部門 鈴木基夫
分区内数人を含む勉強会とし、職業、社会、	

国際、青少年各奉仕部門の情報交換を併せて行なう。

第一部 パネル・ディスカッション

1. 各パネリストによる意見発表
2. 質疑応答

第二部 親睦会



奥三河は、愛知の軽井沢といわれる静岡、岐阜、長野の三県に接し緑と清流に恵まれた昔ながらの文化が伝承されている静かな山村で、長かった厳冬も桜の開花で春の訪れを感じられる暖かい日に行なわれました。ホストである奥三河R.C.は、北設楽郡一円6カ町村をテリトリーとして会員52名、国際奉仕委員会の活動として毎年留学生を招き、ホームステイの実践クラブとして、又ロータリー財団の寄与率の高いこと等は地区で高く評価されています。

9時50分、ホスト・クラブの竹内会長の点鐘から始まり、参加クラブ、出席会員の紹介があり、奥澤ガバナーは、ロータリー発展の為の勉強としI.G.F.の重要性を強調され、伊藤フォーラム・リーダーは、ガバナー、バスト・ガバナー、パネリスト等の出席について感謝と会員の労をねぎらう挨拶がありました。

部門別意見発表は全体会議方式で、パネル・ディスカッションのテーマは職業奉仕部門が「技術革命新時代の職業奉仕」、社会奉仕部門が「社会奉仕活動の原点と発展」、国際奉仕部門が「今後の国際奉仕の在り方」、青少年奉仕部門が「ロータリーと青少年問題」で、それぞれの意見が出され、質疑応答がありました。

国際奉仕関係では「地域諸団体の文化的、社会的交流の補助的役割の重要性」等を始め、活発熱心な質問を皮切りに、青少年奉仕、社会奉仕、職業奉仕等質問が集中し、予定した時間を延長する程で、白熱した討論質疑、有意義な一日を過ごすことができ、嬉しく思いました。

昼食は、伊藤分区分代理の発案で、会場を体育館に移し、午前中の緊張した雰囲気を一変して同じ分区内でありながら、役員横の連絡、意見交換、新入会員の親睦を計る美事な企画で、奥三河の昔ながら伝わる五穀豊穰、無病息災、村内安全等村民の根強い信仰を受け継いでいる重要無形文化財「花まつり」を観賞しながら、友情を温めて、楽しい一日を終えました。

三宅島災害に対する義援について

国際ロータリー第275地区の清家 清ガバナーより標記についてのお手紙を頂きましたのでご紹介いたします。――

先日来ご協力を頂いた三宅島義援のキャンペーンは、33,872,185円（4月30日現在）になりました。別添のガバナーズレターにもありますように、被災の阿古小学校・中学校に雨天体操場を寄付することに致しました。ご協力ありがとうございました。とりえず中間報告のお礼まで。

1984-85年度中に開催される アジア地域関係の会議日程のご案内

菅野R.I.理事から、下記会議の日程についてご連絡（5.2.付）を頂きましたので、お知らせいたします。

1. アジア地域大会
1984年11月14～17日 マニラ市
2. アジア第1及び第3ゾーン研究会
1984年11月23～25日 仙台市
3. 第三回日韓親善会議
1985年4月26～28日 ソウル市

米山奨学会特別寄付報告

日付	クラブ名	個人 人数	寄付金額	日付	クラブ名	個人 人数	寄付金額	日付	クラブ名	個人 人数	寄付金額
4/4	岡崎南	1名	50,000円	4/13	豊川		30,000円	4/21	岡崎南	1名	10,000円
5	松本	7名	70,000円	16	上田東	4名	190,000円	24	岡崎南	1名	20,000円
5	東海		247,290円	16	半田南		82,000円	26	岡崎南		200,000円
6	岩倉	2名	200,000円	17	岡崎南	2名	50,000円	28	西尾	8名	160,000円
6	岩倉		100,000円	17	塩尻		250,000円				
6	岡崎東		6,703円	21	東知多		12,427円	計			1,678,420円

この一年を謝して

昨年の地区協議会の折、ようやく任期を終えられようとしていた或る分区代理さんに「この一年何にポイントを置かれましたか」と質問したら、直ちに「人間関係です」と言う言葉が跳ね返ってきた。人間関係とはどのようなことであろうか、と漠然とした気持ちであったが、さて任務が始まって時間が経過すると共に、人と人との触れ合いが実に暖かいものとして感ぜられ、友情がさらに友情を生み、これに支えられて1年が過ぎようとしている。友情なくして奉仕はないと言うが、これが実感として強く体験させられた1年であった。

それにしても、名古屋市内14クラブ、知多5クラブの連絡係の仕事は想像以上にきついものであった。ガバナーの御苦勞とは比べようもないが、クラブ訪問、公式訪問の随行、I.G.F.、会長・幹事会、各種委員長会議、新入会員講習会、そして本年は創立を祝う記念例会の多い年でもあったし、スケルトンR.I.会長の来名も記



尾張第一分区代理 田中 徹

念すべき事であった。

そして私自身が得たことは、多数の新しい友人知己ができたこと、分区内19クラブを横一列に並べて客観的に勉強できた事であった。今までと全くホームクラブの中だけでロータリーを論じ、井戸の蛙大海を知らずであったが、これは得がたき体験であった。各クラブはそれぞれの誕生のルーツを持ちながら性格も行動も異なり、それでいて熱心に奉仕活動、クラブ奉仕をなされている事は、さすがロータリーであるとロータリアンとしての自負と確信が持てた事であった。

それにしても微力の私がかともかく務めを終えられるのも奥澤ガバナー、花岡幹事さんをはじめバスト・ガバナーの先輩諸賢の暖かい御指導と御叱正があったればこそであり、分区各クラブの御友情と合せて深く感謝申し上げるものがあります。

分区代理の一年を顧みて

1983-84年度もあと残り少ない日数になって参りました。思えば、一昨年12月始め、次期分区代理候補として推薦された旨を親クラブの田原クラブより連絡を頂いた、勿論非公式であるが、続いて宮地分区代理のご来訪と森バストガバナーからの電話、矢次ぎ早やに受理を促す皆様のご好意と、ホームクラブ会長を中心にした理事会からの深い友情にみちた推薦を受け、分区代理の職責が分らぬままにお引受けする形となってしまいました。

然し、大隈ガバナーからの委嘱状を頂いて見て、これは大変な事になったと実感が湧いて参りました。6月に入って、第一分区恒例の次期分区代理を励ます会に森バストガバナーを始めバスト分区代理の諸先輩から激励とご教示を受けるに及んで、益々不安と自信のなさが入混じった心境となりました。

日時は否応なしに迫り、最初の分区代理会議及会長幹事会に出席し、ガバナーの公式訪問日程を頂き、年間行事予定を表にして各クラブ会長に送った時から分区代理の仕事が始まりました。各クラブへの訪問は表敬、事前、公式の3回で、9クラブにすると都合27回の訪問となりました。最初は小手調べに親クラブの田原に訪



三河第一分区代理 伊藤 務

問し、次いで豊川、豊橋クラブに訪問するうちに分区代理とはガバナーと分区との連絡係である事に徹し、各クラブの相談員の役目を引受ける形をとることになりました。その為、重荷となって居た分区代理の役目にも見通しが出来、何とか最後まで完遂出来そうな気がいたして参りました。各クラブの訪問も回を重ねるに従って馴れ、クラブの内容も会員との接触も良くなり、各クラブの例会の持ち方も特色があり、地域性が出ていて学ぶ所が非常に多く、中でも特筆すべき点を挙げれば次の様なものがあります。

1. 20年以上のクラブでは、会員相互のマナーを化を防ぐ為に、バスト・ガバナーがS.A.A.をやったり、会長経験者が奉仕部門の委員長をしたりしてクラブの活性化を計っておられた。
1. 新入会員の教育に月1回フォーラムを、その会員を中心に協議しまとめ発表させる。
1. ロータリー財団への寄附を多くするのに、申告制を採用し、気持ちよく寄附の出来るようにする。
1. 会員の趣味で集収したものを例会で発表する。
1. 国際奉仕活動でも地味な運動を長く続ける。などロータリーの持つ常識から地域と密着した

すばらしい幾多の事例を知りました。

三河第一分区は南北約 120 km に及び海と山のクラブを持つ地域ですが、この一年間に特に記念すべき事業としては、

1. 奥三河と渥美両クラブが地区内で森パスト・ガバナーのご助言で姉妹提携をした事。

1. 今年度幹事会が「テニテ会」を発足させ、分区内の横糸を結び合い、親睦を計る事を約した事。

1. 奥三河クラブが来年15周年で三高次期分区代理を選出された事。

などの地域への貢献の根を張る基礎をロータリークラブの手で作った事は、私にとって大変うれしい出来事でありました。

4月22日には、奥三河のホストで、森パスト・ガバナー、奥澤ガバナー、奥谷ガバナーノミニ、三高次期分区代理のご臨席のもとに分区内9クラブより262名の会員が集まり、盛大に、且つ意義ある親睦の実を挙げました事を心から嬉しく感謝いたすものであります。

一年を顧みて

顧みれば早いもので、1年経過しようとしています。昨年7月、東北信の分区代理に就任して早速ガバナーの公式訪問の前に分区代理としての事前訪問を始め当初は、これは大変重要な仕事で、果して私でよいのかと思いつつ、日程に追われて今日までできてしまいましたが、考えてみると、よくぞ大過なく務められたものだ、改めて関係者皆様のご協力の賜物と感謝の気持ちでいっぱいです。分区代理として、ガバナーに事前報告のための各クラブの訪問と、ガバナーの公式訪問のお供をしてお供をしての訪問と、東北信地区13クラブすべてに2回お伺いをいたしました。

ガバナーの公式訪問では、ガバナーから各クラブ毎にそれぞれ実情にあったご指導を頂き、クラブ活動の糧に充分なりえたことと確信を持った次第です。又、それに合わせて感じたことは東北信13クラブが全部同じではないということです。地域、環境、メンバーの構成、人数規模等の関係からか、その運営について会長幹事が苦心されていることがよくわかりました。

本年度東北信地区にとりまして特筆すべきことをあげるとすれば、先ず第一は、1984-85年度の地区協議会のホストを小諸クラブが引受けられたこと、次に1985-86年度の地区年次大会のホストを上田クラブが引受けられたことです。

又、本年度R.I.会長の方針に依り、会員増強

これで、余す所、豊川クラブのホストによる地区協議会が6月17日に行われますが、これも宮地前分区代理が大会委員長で準備が進められており、立派に終了することと存じます。

最初に心配いたしました、分区代理の重責も心温かい奥沢ガバナーを始め、分区の会長・幹事及び会員の皆様に支えられ無事過し、あと数拾日の残りとなりました。これも会員の友情でもって出来得たものと深く感謝いたします。

次年度は、三高次期分区代理へバトンを渡すこととなります。分区の皆様の変らぬ友愛の精神でもって、三高次期分区代理をご支援賜らんことを切にお願い致します。

最後に、この一年手を取ってご指導頂きました奥沢ガバナー始めガバナー事務所の皆様に最大の敬意と感謝を申し上げます。

又、三河第一分区のロータリーの皆様にも重ねてご協力のお礼を申し上げ、今後のご健康とご発展をお祈り申し上げます。



東北信分区代理 塚田 和男

には各クラブとも大変熱心に行っていた、ほぼ目標を達成に近ところまでできました。次にクラブ拡大であります、東北信地区間で可能性のある所を数ヶ所あげて実現にむけて計画を推し進めた結果、幸いにも長野市内で長野東クラブの協力により長野北クラブが3月1日に誕生いたしました。R.I.加盟認承も済み、6月24日(日)の認証状伝達式を行うまでになりました。どうにかまがりなりにも遂行できましたのは、ひとえに奥沢ガバナー、木村特別代表をはじめ長野北クラブの真木会長、宮本ガバナー・エイドなど大勢の皆様のご理解とご協力の賜ものと改めてお礼を申し上げます次第です。

分区代理として充分なお役に立ち得なかったことを反省するとともに、東北信地区にはまだ充分なエネルギーを残している様に思われます。今後の益々の発展をのぞんでやみません。一年間のご指導ありがとうございました。

1985-86年 R.I. 青少年交換について

地区青少年交換委員会の加藤一三委員長より上記表題の書翰(5.10付)が地区内各クラブ宛に送られております。交換を希望されるクラブは内容にご注意下さい。

分区代理を終えて

分区代理として就任以来、一ヵ年の歳月が流れ、やっと終わろうとしています。

昨年、第260地区の年次大会が当分区内の松本で開催されることが決定いたし、その為に次期分区代理として準備会に出席したり、また地区協議会に参加させて頂き、未熟なロータリアンの私は、いささか戸惑いと同時に分区代理の責任の重大さを痛感いたしました次第です。が、あっという間に地区大会、I.G.F.、松本東ロータリー・クラブの誕生と過ぎ、その間、大町R.C.の20周年記念、木曽R.C.の15周年記念、白馬R.C.の10周年、ローターアクト・クラブの地区年次大会等に参加するチャンスを得、その度に多くのロータリアンの皆様とふれ合うことが出来ましたことに感謝いたしております。

また、分区代理として事前訪問、公式訪問等をさせて頂き、強く感じました事は、古いクラブ、新しいクラブ共に、それぞれの持ち味を生かしたクラブ運営に、地域に密着した奉仕活動に努力されていることでありました。

訪問の際は、各クラブの会長、幹事、会員の皆様の一方ならぬご厚情に接し、良い勉強とも



南信第一分区代理 有賀 安一

なり、ロータリアンとしての友情を、今後一層大切にしてゆきたいと思うと同時に、ロータリーの基礎は人間関係にあるということ、これまた痛感いたしております。

I.G.F.開催につきましては、ホストの茅野クラブさんの献身的なご協力により無事終了を視、また松本クラブさんの最大のご尽力による松本東ロータリー・クラブの誕生等、その他幾つかの行事にも至らぬ分区代理ではございましたが、大過なくその責務を終りました。

これらすべて奥澤ガバナーを始め、花岡地区幹事、ガバナー事務所の皆様及びバスト分区代理、各ロータリー・クラブの会長、幹事、会員の皆様の温いご指導ご配慮ご協力を頂いたことに心から感謝申し上げます。

次期の南信第一分区代理の池上さんは、ベテランのロータリアンでございます。私同様、絶大なご協力を賜りますようお願い申し上げ、各クラブの会員皆様のご健勝をご祈念申し上げ、退任のご挨拶といたします。

西尾張分区で国際奉仕委員長会議を開催

あまR.C.からのご連絡によれば、去る4月21日(出)、名鉄グランドホテルにおいて、あまR.C.がホストとなり、西尾張分区内8クラブの現、次期国際奉仕委員長を集めての合同会議が開催されたとのことです。

各クラブの委員長のほか、地区から森国際奉仕委員長、下郷国際奉仕副委員長、赤津世界社会奉仕委員長、加藤青少年交換委員長、大竹組合せ地区委員長、特別参加として児玉次期西尾張分区代理などの方々が出席され、リーダーとして宮川分区代理の司会により、下記表題毎にパネリストが中心になって活発な討議を行ないました。

(1) 国際奉仕活動について

- 大変重要かつ困難な活動であるが、姉妹提携等を通じて積極的に交流することも一方法である。
- あまR.C.から現在創っている海外向案内書を紹介した。

(2) 青少年交換について

この分区は最近交換学生の派遣、受け入れが少ないので、積極的に行なって欲しいと

パネリストから要請され、何が障害になっているのかを討議した。

(3) 世界社会奉仕について

R.I.本部から来ているプロジェクト(3段階)の中から、単一クラブで出来ることは各クラブで行ない、分区でまとめて行なうプロジェクトは次回の合同会議で相談することにして、次年度の各クラブで国際奉仕の予算に組入れておいてはどうか、とリーダーより発議された。

(4) 組合せ地区について

相手が遠いところなので、考え方に相異があり、現在その方法等について検討中である。

昨年の合同委員長会議から西尾張分区が8クラブになったので、各クラブの委員長同志が互いに知り合いになり、和やかな交流が出来たことと、少数のクラブなので発言等も多くなってきた。最後に次期西尾張分区代理児玉秀雄さんから挨拶があり、次回会議のホストを津島R.C.に指名して散会したとの報告を頂きました。

地区ニュース

去る5月12日(土)11時半より名鉄グランドホテルにおいて臨時地区諮問委員会が開催され、下記議題が討議されました。

臨時諮問委員会議題

- (1) 1985-86年度ガバナー・ノミニーの件
- (2) 1984-85年度のための地区協議会に関する件
- (3) 1984-85年度地区大会に関する件
- (4) 諸報告 (I.G.F., 増強・拡大, 財団奨学生, ローターアクト地区大会)
- (5) その他

松本東ロータリー・クラブ発足

4月20日、松本東R.C.の創立総会が松本市外浅間温泉ウエストン・ホテルにおいて盛大に挙行されました。創立総会は、松本R.C.の吉澤S.A.A.の司会で、神沢特別代表の点鐘、開会のことにより始まり、来賓紹介、設立経過報告、創立会員紹介の後議事に入り、クラブ定款・細則の決議、理事・役員を選出、R.I.加盟申請書の提出をもって議事を終了。スポンサー・クラブ清水会長より新クラブに記念品贈呈のあと、来賓として奥澤ガバナー、有賀南信第一分区代理、清水スポンサー・クラブ会長が夫々祝辞を述べ、松崎新クラブ会長よりお礼のあいさつがあつて、神沢特別代表の閉会のことば、点鐘により無事総立総会を終了しました。引続いて、記念撮影のあと午餐会に入り、来賓、松本R.C.参加者、創立会員が共に新クラブの前途を祝い合いました。ご発展を心よりお祈り申し上げます。

松本東ロータリー・クラブ、R.I.加盟承認

4月20日発足した松本東R.C.は、創立総会後わずか17日目の5月7日付をもって国際ロータリーに加盟承認されました。

松本東ロータリー・クラブ

会長 松崎 一
幹事 永沢 茂
会員数 30名
例会日 金曜日 12:30
例会場 レストラン松本館
松本市丸の内7-39
TEL 36-7737
事務所 例会場と同じ



1985-86年度

ガバナー・ノミニー候補に
地区指名委員会が推薦

(名古屋空港)福田浩三君

昭和2年12月14日生

昭和28年 名古屋大学医学部卒業
同 29年 フルブライト交換学生として米国
留学、一般外科研修
同 35年 名大第一外科助手 血管外科専攻
同 40年 愛知県済生会病院外科部長
同 47年 医療法人愛生会上飯田第一病院
院長となり現在に至る
現 在 名古屋市医師会理事、愛知県病院
協会理事、愛知県外科医会理事

ロータリー歴

昭和49年 名古屋空港R.C.入会
同 53-54年 同 会長
同 57-58年尾張第二分区代理
ポール・ハリス・フェロー
米山功労者

1985-86年度財団奨学生選考結果について

1985-86年度ロータリー財団奨学生の選考は、去る4月5日(木)、36名の応募者を対象に、慎重な審議の結果、下記の通り候補者を選出しR.I.財団委員会に推薦することになりました。なお、R.I.の財団管理委員会による最終選考結果は、9月に発表される予定です。

正候補者氏名	提唱クラブ	奨学金の種類	留学国	主要専攻分野
宮沢 稔 松 本	大学院	フランス	フランス文学	
浅見 靖仁 名古屋守山	〃	タ イ	地域経済、経済発展	
濱嶋 信之 名古屋東南	〃	アメリカ	医学、疫学	
林 香里 名古屋南大	大学	アメリカ	言語哲学	
大桑 景子 豊 橋	〃	イタリア	イタリアジャーナリズム研究	
＊補欠候補者				
石田あつみ 長野東大	大学	ドイツ	ドイツ近代史	
藤澤 純 長野	〃	アメリカ	オーガニゼーションコミュニケーション	

一 計 報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

4月19日 小松 信輔 殿 (大 町)
4月20日 久野 聰 殿 (名古屋東南)
4月25日 高野 登 殿 (松 本 南)
5月9日 蟹江 一忠 殿 (名 古 屋)
5月13日 神野英之助 殿 (名 古 屋 北)

1984-85年度のためのR.I.第260地区協議会開催ご案内

—— 豊川ロータリー・クラブ地区協議会 実行委員会 ——

今年度最後の地区公式行事である地区協議会は、豊川R.C.のホストにより、来る6月17日(日)、豊川市において開催されます。現在、実行委員会により開催準備が着々と進められておりますが、出席義務者に次期会員増強委員会委員長がR.I.より指名、加えられている点が(月信11号7頁参照)今回の特色であり、各部会のリーダー、アシスタント・リーダー、アドバイザー、パネラーには下記の方々が予定されております。

●日時 昭和59年6月17日(日)

登録9:00～9:30

本会議および分科会9:40～14:30

●場所 本会議場：豊川市文化会館

1階大ホール

分科会場：豊川市文化会館2階会議室

豊川市勤労福祉会館

豊川市保健センター

豊川市准看護婦学校

●登録料 I) クラブ負担金 ￥64,000(8名分)

II) 一般参加者お一人 ￥8,000

●参加者 (1) 出席義務者

1. 次期クラブ会長
2. 次期クラブ幹事
3. 次期クラブ奉仕委員長
4. 次期会員増強委員長
5. 次期職業奉仕委員長
6. 次期社会奉仕委員長
7. 次期青少年奉仕委員長
8. 次期国際奉仕委員長

以上8分科会 計8名

(2) 一般参加者

(3) 特別参加者

1984-85年度地区協議会のための

リーダー・アシスタントリーダー・アドバイザー・パネラー

〔第1分科会〕会長部会

L	ガバナー	奥澤 俊一(松 本 南)
AL	ガバナーエレクト	奥谷 博俊(尾 張 旭)
"	分区代理	加藤 政良(瀬 戸)
"	次期分区代理	宮本 邦蔵(名古屋西)
A	バストガバナー	山田市三郎(名古屋南)

〔第2分科会〕幹事部会

L	地区幹事	花岡 和雄(松 本 南)
AL	分区代理	山中 寛三(碧 南)
"	次期分区代理	児玉 秀雄(津 島)
A	次期地区幹事	出分 龍三(尾 張 旭)
"	地区会計長	小岩井茂門(松 本 南)
"	次期地区会計長	松原 勝明(尾 張 旭)
P	ロータリーの友委員長	神谷 昭司(高 浜)
"	次期ロータリーの友委員長	鈴木宗太郎(長 野)

〔第3分科会〕クラブ奉仕部会

L	バストガバナー	加藤直一郎(岡 崎 南)
AL	分区代理	田中 徹(半 田)
"	次期分区代理	三高 宏(奥 三 河)
A	バストガバナー	安野 譲次(一 宮)
P	次期クラブ奉仕研究小委員会委員長	中村 繁男(岡 崎 南)

〔第4分科会〕職業奉仕部会

L	バストガバナー	藤原 正男(諏 訪)
AL	分区代理	伊藤 務(渥 美)
"	次期分区代理	宇野 俊夫(岡 崎 東)
A	バストガバナー	原 亨二(飯 田)
P	次期職業奉仕研究小委員会委員長	水野 民也(名古屋千種)

〔第5分科会〕社会奉仕部会

L	バストガバナー	大隈 孝一(名古屋)
AL	分区代理	有賀 安一(富士見)
"	次期分区代理	荻原 雅(小 諸)
A	バストガバナー	近藤友右衛門(名古屋)
P	次期社会奉仕研究小委員会委員長	内山 照美(豊 橋 南)

〔第6分科会〕青少年奉仕部会

L	バストガバナー	川瀬 保(名古屋南)
AL	分区代理	北原 克己(松 川)
"	次期分区代理	池上 真通(松 本 南)
A	バストガバナー	佐藤 知雄(名古屋東)
P	次期青少年奉仕委員会副委員長	山内 疆(豊 橋 北)
"	"	中里三七雄(軽 井 沢)

〔第7分科会〕国際奉仕・ロータリー財団・米山奨学会部会

L	バストガバナー	森 泰樹(豊 橋)
AL	分区代理	宮川 正春(西春日井)
"	次期分区代理	山田 久雄(犬 山)
A	バストガバナー	鮎谷賢太郎(名古屋)
P	次期国際奉仕副委員長	下郷弥太郎(名古屋東南)
"	次期ロータリー財団委員会副委員長	酒井 博(駒ヶ根)
"	"	浅野 甚七(名古屋)
"	"	楠 仙三(名古屋)
"	次期米山奨学会副委員長	河合 利周(名古屋北)
"	青少年交換小委員長	加藤 一三(名古屋北)
"	世界社会奉仕小委員長	赤津賢太郎(名古屋南)

〔第8分科会〕会員増強部会

L	バストガバナー	北野 幾造(長野)
AL	分区代理	塚田 和男(長野東)
"	次期分区代理	加藤 徳夫(飯 田)
P	次期会員増強委員会副委員長	福田 源一(江 南)

注) L=リーダー, AL=アシスタントリーダー, A=アドバイザー, P=パネラー

尾張中央R.C., R.I.加盟認証状伝達式挙行

5月6日、尾張中央R.C.は名古屋都ホテルにおいて、県知事、師勝、西春両町長他多数の特別来賓、ガバナー、尾張地域P.G., 地区拡大カウンセラー、愛知県内分区代理、元尾張第二分区内各クラブ会長、スポンサー・クラブ会長、幹事、特別代表、ガバナー・エイド等の来賓、地区外6 R.C., 地区内44 R.C., 台湾永和R.C.の会員多数参加のもとに盛大なR. I.加盟認証状伝達式を行いました。

式典は長谷川会員の進行により始まり、野田特別代表の設立経過報告、ガバナーより認証状の伝達および告辞があり、青井新クラブ会長の挨拶、会員紹介のあと、記念事業目録贈呈、地区万国旗（トンガ王国）贈呈が行われ、県知事、師勝、西春両市町、スポンサー・クラブ会長、台湾永和R.C.会長より夫々祝辞が述べられ、クラブ設立功労者に新会長より記念品の贈呈があって厳粛のうちに式典を終了しました。式後祝宴に入り、名古屋芸術大学ウインドオーケストラの演奏等のアトラクションを觀賞、参加会員一同新クラブの誕生を祝い前途を祝福し合って無事解散いたしました。

なお、伝達式を記念して行われた事業は、R.財団・米山記念奨学会への寄付、愛知県社会福祉事業、西春・師勝両町警察署、保健所、ボーイスカウトへの助成金の贈呈等でありました。

移籍会員11名を含み30名で出発した当クラブは、短期間に7名の会員を増強。創立より出席率100%を継続して、奉仕の第一歩からすばらしい実績を築かれています。今後の発展をご期待申し上げます。

名古屋熱田ローターアクトクラブ承認

名古屋熱田ローターアクト・クラブ（提唱R.C.名古屋南、名古屋東南、名古屋瑞穂）は去る3月15日地区内12番目、愛知県内7番目のクラブとして誕生しましたが、3月27日付をもって結成証明書が下付されました。今後のご活躍をご期待申し上げます。

会長 一ノ瀬裕一

幹事 太田 英夫

例会日 毎月第1・第3木曜日 18:30

例会場 熱田神宮文化殿2F会議室

〒456 名古屋市熱田区神宮1-1-1

TEL 052 (671) 0582

事務所 〒460 名古屋市中区栄1-12-12

東洋ビルB1

TEL 052 (221) 6533

春日井R.C.創立15周年

5月11日、春日井R.C.は春日井ロイヤルにおいて、春日井市長、市議会議長をはじめ多数の特別来賓、ガバナー、大隈P.G., 加藤分区代理、山内分区代理幹事、向特別代表、伴野スポンサー・クラブ創立時会長、東尾張分区内各クラブ会長、春日井R.C.初代・2代・3代会長等多数の来賓出席のもとに盛大に創立15周年記念例会・式典を挙行。数々の記念事業の発表、会員表彰が行われました。式後祝宴に入り、余興では乃一クラブ会員の素人ばなれした手品の披露もあって無事記念式典を終了しました。

記念事業として、春日井市ヘミュージック・チャイム2基、R.財団・米山奨学会へ各10万円、G.S.ヘテント2張を夫々寄贈。

翌5月12日には、篠ノ井旭高校若林繁太校長の「何故青少年は非行にはしるか」と題する記念講演会を開催、多数の聴衆に感銘をあたえました。

おめでとぅ

新ボール・ハリス・フェロー

3月26日	後 藤 芳 夫	(尾 西)
3月26日	三 輪 武 夫	(尾 西)
3月26日	山 田 豊 二	(小 牧)
3月26日	福 与 碩 夫	(名 古 屋 中)
3月26日	林 猛 夫	(名 古 屋 中)
3月26日	林 郁 二	(名 古 屋 中)
3月26日	堀 田 逞 二	(名 古 屋 中)
3月26日	池 山 辰 巳	(名 古 屋 中)
3月26日	井 上 文 夫	(名 古 屋 中)
3月26日	一 柳 鋼	(名 古 屋 中)
3月26日	安 田 重 之	(名 古 屋 中)
3月26日	高 田 慶 躬	(名 古 屋 中)
3月26日	首 藤 康 文	(名 古 屋 中)
3月26日	森 田 素 生	(名 古 屋 中)
3月26日	森 義 信	(名 古 屋 中)
3月26日	松 原 正 行	(名 古 屋 中)
3月26日	国 松 勇	(名 古 屋 中)
3月26日	小 林 武 千代	(名 古 屋 中)
3月26日	近 藤 徹	(名 古 屋 中)
3月26日	加 藤 達 也	(名 古 屋 中)
3月26日	村 山 博 志	(名 古 屋 西)
3月26日	牧 清	(豊 橋)
4月9日	宮 原 建 雄	(木 曾)
4月19日	内 田 光 和	(伊 那)
4月27日	犬 飼 栄 輝	(名 古 屋 東 南)
4月27日	沢 田 裕 之	(名 古 屋 西)

東尾張分区で国際奉仕委員長会議を開催

標記国際奉仕委員長会議を、昨年10月につづいて第2回目を5月1日(火)、瀬戸商工会議所において、東尾張分区内9クラブの、次年度委員長を加えて各クラブ2名の参加のもとに開催いたしました。

ホストを瀬戸R.C.がつとめられ、加藤ホストクラブ会長、加藤政良分区代理の挨拶につづき、森 泰樹地区国際奉仕委員長より主旨ご説明をいただきました。更に、加藤一三青少年交換委員長より青少年交換について、赤津世界社会奉仕委員長よりW.C.S.について、大竹組合せ地区委員長よりブラジル451地区のご説明、下郷国際奉仕副委員長よりクラブ提携についての交流問題が述べられました。今回は現、次期の委員長の出席をいただいておりますので、次年度の委員長には事業計画に際し種々ご参考になったと思われます。

又、当分区は海外R.C.との姉妹提携も順調に

進んでおり、夫々のクラブの状況をご報告いただきました。特に岩倉R.C.より台湾北斗R.C.との交流が実にうまくいっている状況をつぶさに拝聴し大変参考になりました。青少年交換をしている小牧、名古屋空港両R.C.より当面の悩んでおられる問題点が質問されるなど、理解を深めるのにより勉強会であったと思われます。各地区の委員長さん方、来期も継続されるそうで、次年度早々にまた会議を開催される由ご発表があり、次年度は犬山R.C.がホストと決定し、閉会いたしました。

東尾張分区代理幹事 山内 鉦平記

人・ことば

少年の将来を判断する手がかりとなる性質を、ただ二つだけ選び出せと言われたら、私は、好奇心と意志の強さを選ぼうと思う。なぜなら、好奇心をもった者だけが学ぶことができ、強固な意志の持ち主だけが、学ぶための障害を克服することができるからだ。私はいつも、知能指数よりも好奇心指数に興味を感じる。

アーマスト大学 ユージンS.ウィルソン

R.D.誌68-8

地区内クラブ別会員増加数 1984年4月末現在

分区	クラブ名	6月末比増減	分区	クラブ名	6月末比増減	分区	クラブ名	6月末比増減	分区	クラブ名	6月末比増減
尾張第一分区	半田	+2	名古屋空港	名古屋空港	-7	三河第二分区	安城	0	南信第一分区	上田東	●+6
	半田南	+3		尾張旭	-1		安城南	+2		14C	+69
	東知多	●+4		瀬戸	-1		刈谷	+2		茅野	+1
	名古屋	●+14		瀬戸北	-1		西尾	●+6		富士見	0
	名古屋千種	●+6	9C		-4	東北信分区	岡崎	+4	南信第二分区	白馬	-4
	名古屋東	●+5	西尾張分区	あま	+1		岡崎東	●+6		本曾	0
	名古屋北	+3		西宮	0		岡崎南	+2		松本	●+3
	名古屋名北	●+6		一宮	+4		岡崎浜	+3		松本南	●+6
	名古屋名東	-1		稲沢	+4		豊田	+2		松本西	●+4
	名古屋南	+4	三河第一分区	春日井	+1		豊田東	+2		岡谷	●+6
	名古屋港	●+6		西春日井	●-5		豊田西	●+8		大垣	+3
	名古屋瑞穂	+3		尾張中央	●+37		12C	+34		塩尻	0
	名古屋守山	●+7		津島	+4		軽井沢	-2		(松本東)	+2
	名古屋中	●+8	8C		+46		小諸	●+7	南信第三分区	飯田	0
	名古屋西	●+20	三河第一分区	渥美	+2		丸南	-3		飯田南	●+6
	名古屋東南	+4		蒲郡	+1		佐久野	-1		飯田島	+2
	名古屋和合	●+7		奥三河	0		長野	●+7		伊那	+1
東尾張	東海	+3		新城	●+4	東北信分区	長野北	●+36	計	駒ヶ根	+3
	常滑	●+7	三河第一分区	新田	●+7		長野南	●+4		松川	●+4
	19C	+111		豊橋	0		長野野	+2		箕輪	-1
	犬山	+1		豊橋北	●+13		中野	+1		辰野	+2
	岩倉	●+4		豊橋南	●+8		戸倉	●+4	8C		+17
	春日井	+2	9C		+40		上田	+2	90クラブ		+334
東尾張	小牧	-1	三河第一分区	豊川	●+5	東北信分区	上田	+2			
	江	0		9C	+40		上田	+2			

●印は、会長賞プログラム目標に到達したもの。

松本東R.C.は、4月末現在、仮クラブ故に、計算外としてあります。

昭和59年 4 月度 分區別会員数及び出席率

分 区	クラブ名	会員 数	出席 率	例 会 数	前会 員 月 数	増 減
尾 張 第 一 分 区	半 田	65	98.71	4	65	0
	半 田, 南	46	100.00	4	46	0
	東 知 多	48	91.10	4	45	+ 3
	名 古 屋	221	95.05	4	224	- 3
	名古屋千種	53	98.58	4	53	0
	名古屋東	97	98.15	4	94	+ 3
	名古屋北	99	100.00	4	100	- 1
	名古屋名北	57	100.00	4	55	+ 2
	名古屋名東	53	100.00	4	53	0
	名古屋南	118	99.40	4	118	0
	名古屋港	109	99.52	4	106	+ 3
	名古屋瑞穂	63	98.10	4	63	0
	名古屋守山	86	100.00	4	84	+ 2
	名古屋中	102	100.00	4	99	+ 3
	名古屋西	152	98.75	4	152	0
	名古屋東南	84	100.00	4	85	- 1
	名古屋和合	83	100.00	4	83	0
	東 海	51	97.55	4	50	+ 1
	常 滑	63	97.92	4	63	0
	19 C	1,650			1,638	+12
東 尾 張 分 区	大 山	76	100.00	4	76	0
	岩 倉	34	100.00	4	34	0
	春 日 井	84	100.00	4	84	0
	小 牧	64	100.00	4	64	0
	江 南	65	100.00	4	65	0
	名古屋空港	61	100.00	4	62	- 1
	尾 張 旭	47	98.94	4	46	+ 1
	瀬 戸	75	98.67	4	76	- 1
	瀬 戸 北	50	100.00	4	50	0
	9 C	556			557	- 1
西 尾 張 分 区	あ ま	74	99.33	4	74	0
	尾 西	53	99.07	4	53	0
	一 宮	86	99.40	4	86	0
	一 宮 北	77	99.68	4	76	+ 1
	稲 沢	53	100.00	4	52	+ 1
	西春日井	65	97.24	4	65	0
	尾張中央	37	100.00	4	34	+ 3
	津 島	75	100.00	4	75	0
	8 C	520			515	+ 5
三 河 第 一 分 区	渥 美	59	97.03	4	59	0
	蒲 郡	73	98.24	4	73	0
	奥 三 河	52	98.56	4	52	0
	新 城	51	94.12	4	51	0
	田 原	72	96.53	4	72	0
	豊 橋	117	99.07	4	117	0
	豊 橋 北	107	99.75	4	107	0
	豊 橋 南	76	98.92	4	72	+ 4
	豊 川	83	98.24	4	83	0
	9 C	690			686	+ 4

分 区	クラブ名	会員 数	出席 率	例 会 数	前会 員 月 数	増 減
三 河 第 二 分 区	安 城	72	100.00	4	71	+ 1
	碧 南	70	98.55	4	72	- 2
	一 色	48	94.27	4	48	0
	刈 谷	85	99.65	4	84	+ 1
	西 尾	79	98.67	4	78	+ 1
	岡 崎	92	99.70	4	92	0
	岡 崎 東	63	100.00	4	61	+ 2
	岡 崎 南	79	99.35	4	79	0
	高 浜	46	100.00	4	46	0
	豊 田	89	100.00	4	91	- 2
東 北 信 分 区	豊 田 東	63	100.00	4	60	+ 3
	豊 田 西	76	99.67	4	73	+ 3
	12 C	862			855	+ 7
	軽 井 沢	39	99.32	4	39	0
	小 諸	61	96.73	4	60	+ 1
	丸 子	37	90.53	4	37	0
	南 佐 久	26	78.80	4	26	0
	長 野	95	98.72	5	94	+ 1
	長 野 東	76	97.30	4	75	+ 1
	長 野 北	36	99.29	4	35	+ 1
南 信 第 一 分 区	長 野 南	35	94.99	4	35	0
	中 野	48	91.67	4	48	0
	佐 久	38	97.37	4	38	0
	須 坂	46	86.00	4	46	0
	戸倉上山田	40	100.00	4	40	0
	上 田	61	98.53	4	62	- 1
	上 田 東	56	99.00	4	56	0
	14 C	694			691	+ 3
	茅 野	27	88.74	4	28	- 1
	富 士 見	33	87.87	4	33	0
南 信 第 二 分 区	白 馬	37	91.89	4	38	- 1
	木 曾	49	94.68	4	49	0
	松 本	77	99.64	4	75	+ 2
	松 本 南	82	100.00	4	78	+ 4
	松 本 西	51	91.12	4	51	0
	岡 谷	67	94.04	4	66	+ 1
	大 町	62	96.93	4	63	- 1
	塩 尻	40	98.75	4	39	+ 1
	諏 訪	62	95.16	4	62	0
	(松 本 東)	(30)	93.35	2	—	(+30)
南 信 第 二 分 区	11 C	587			582	+ 5
	飯 田	84	99.62	4	84	0
	飯 田 南	79	100.00	4	80	- 1
	飯 島	35	93.33	4	35	0
	伊 那	83	98.69	4	83	0
	駒 ケ 根	63	100.00	4	64	- 1
	松 川	55	97.27	4	55	0
	箕 輪	31	100.00	4	31	0
	辰 野	51	100.00	4	50	+ 1
	8 C	481			482	- 1
計	90 クラブ	6,040			6,006	+34